



# タブテンション式電動プロジェクタースクリーン シネテンション 2 シリーズ (CineTension 2 Series)

## ユーザーガイド

### 重要:安全に使用するための注意事項

ご使用前に、このユーザーガイドをご一読ください。正しく使用することで長くお使いいただけます。

**警告** スクリーンの出荷時、スクリーンの上昇位置は最大の長さに調節されています。ローラーには余分なブラックマスク部分がありません。限度を超えて調整しようとする、モーターにダメージを与え、製品の保証が無効となるため、ご注意ください。製品に対する非認定の改造または修理(配線のための電源コードの切断は除く)は禁止されており、メーカーの保証が受けられなくなります。製品に関するご質問は、エリートスクリーンジャパンまでお問い合わせください。

- 必要な場合に備えて、本書を保存してください。
- 製品の損傷を避けるため、メーカーが指定した付属品を使用してください。
- 運搬の際は、注意して取り扱ってください。
- 装置に電源を供給する電源コンセントは、できるだけ近い場所を選んでください。
- 起伏や段差のある場所、傾いた場所に製品を置かないでください。
- 電源コードの上に重い物を置かないでください。また電源コードは、人がつまずいたりしないように、適切に配線してください。
- 感電や火災を避けるため、電源コードに過剰な電流を流さないでください。
- 製品の内部には、お客様で整備や修理をすべき部品はありません。指定された技術者以外にはカバーを外さないでください。
- 電源は連続的に供給されるようにしてください。
- 延長コードを使用する必要がある場合は、正しい規格(日本国内は 100V)のものをご使用ください。
- 手が濡れている状態や、体の一部が水に触れた状態で電源コードを触らないでください。
- 強風・豪雨や雷などの極端な悪天候が予想される場合にはコンセントを抜いてください。
- 直射日光・雨・湿気が当たらないようにしてください。
- 製品が加熱されないよう、火の近くや高温となる場所を避けて設置してください。
- 製品を移動させる場合やメンテナンスの際には、電源コードを抜いてください。
- 製品を長期間使用しない場合、他の家電製品と同様、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ケガや感電の可能性があるので、製品が明らかに損傷している場合や部品が故障している場合は、製品の使用を中止してください。

## 注意:

本装置は、テストの結果、米国 FCC 規定の第 15 条に準拠した、クラス B デジタルデバイスの制限を満たしていることが確認されています。

クラス B の制限は、装置を住宅地域に設置して使用した場合に、有害な電波障害が発生しないことを目的に定められています。本装置は無線通信周波数の電波を生成し放出するため、使用説明書に沿わない設置方法や使い方をすると、無線通信の障害になる可能性があります。

なお、特定の設置方法によって、電波障害が発生しないという保証はありません。装置がラジオやテレビの受信に有害な電波障害を発生させるかどうかは、装置の電源をオン・オフすることで判定できるので、以下の方法をお試しください。

- ✓ 影響を受けている可能性のある受信アンテナの場所や方向を調整する。
- ✓ 本装置と受信装置の距離を離す。
- ✓ 受信装置が使用しているコンセントと別のコンセントを使用する。

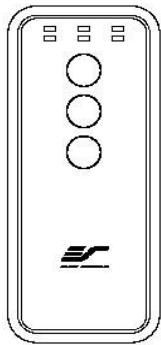
## 設置の準備

1. スクリーンは、注意して開梱してください。
2. スクリーンは、清潔で平らな場所に設置してください。
3. スクリーンの表面が汚れないよう、ホコリ、筆記用具、液体などに触れないようにしてください。

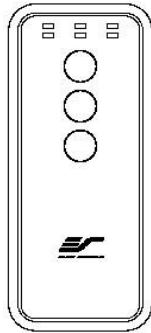
## 注意

スクリーンは確実に固定する必要があります。間違ってもスクリーンに力を加えてしまった場合や振動で、ケースの取り付けが緩んだり落ちたりしないように、取り付ける場所に合った適切な強さでネジを確実に締めてください。

## 付属品



A.  
赤外線(IR)リモコン



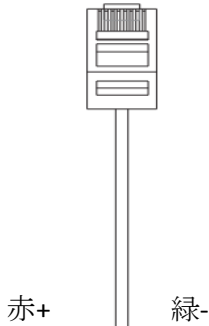
B.  
ラジオ周波(RF)リモコン



C.  
壁用スイッチボックス



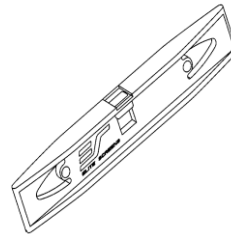
D.  
延長用赤外線レーザー



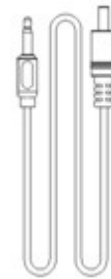
E.  
5-12Vトリガケーブル



F.  
バッテリー



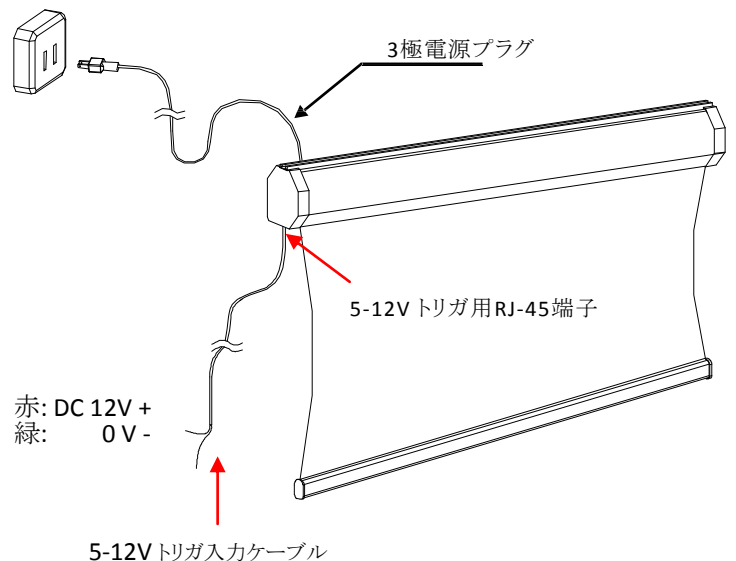
G.  
水準器



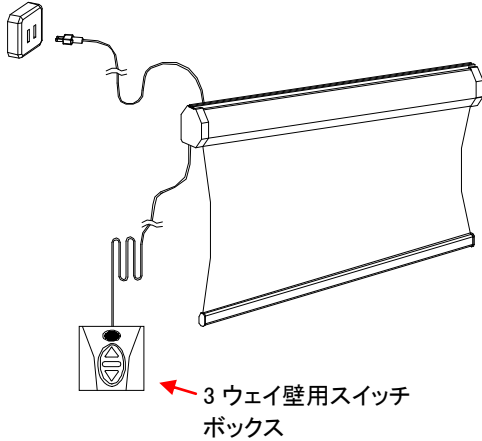
H  
ワイヤレス制御用  
5-12Vトリガケーブル

## スクリーンの制御方法

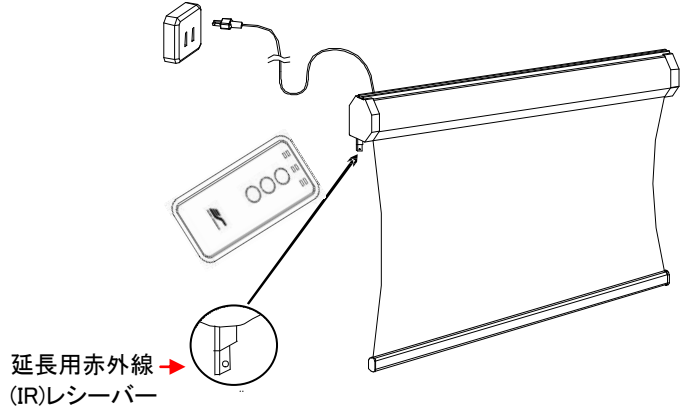
**1. 5-12Vトリガ入力:** 5/12Vトリガ入力を使用すると、スクリーンをプロジェクターの電源に連動して昇降させることができます。スクリーンはプロジェクターの電源がオンとなったときに降下し、プロジェクター電源がオフとなったときに上昇します。5/12Vトリガ入力のためのケーブルはプロジェクター装置に付属されている場合と別売の場合があります。5/12Vトリガ入力をプロジェクターに接続してもうまく作動しない場合は、9V電池を使用し、赤(+)と緑(-)のケーブルを接続してテストしてください。



**2. 3 ユエイ壁用スイッチボックス:** スクリーンの RJ-45 端子に接続すると、スクリーンを有線で制御できます(ボックスに赤外線受信部はありません)。

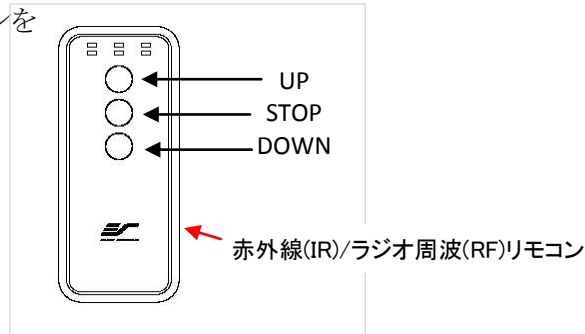


**3. 延長用赤外線(IR)レシーバー:** 延長用赤外線(IR)レシーバーをスクリーンの RJ-45 端子に接続できます。スクリーンを垂れ壁などの陰に隠れた位置に設置する場合でも、受信部(レシーバー)だけに見える位置に出しておき、赤外線リモコンを向けて制御することができます。



**4. 赤外線(IR)リモコン:** 赤外線リモコンを使用すると、4.5m 以内の距離で、スクリーンが直接見える場所から制御することができます。スクリーンの左側にある赤外線受信部にリモコンを向けて操作します。

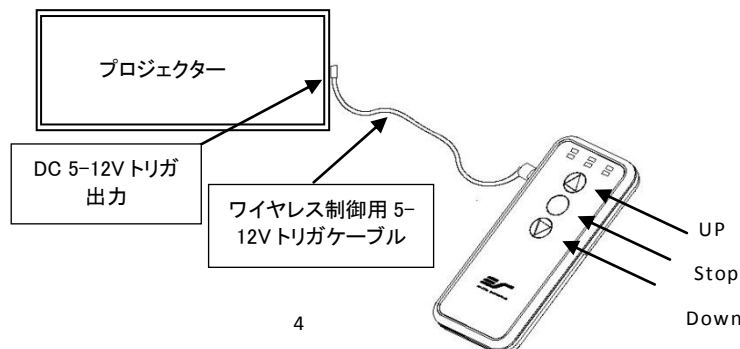
**5. ラジオ周波(RF)リモコン:** ラジオ周波リモコンを使用すると、スクリーンが隠れた位置にある場合でも、30m 以内の距離から制御できます。



**6. ワイヤレス制御用 5-12V トリガケーブル:** 付属のラジオ周波(RF)リモコンは、通常のリモコン操作の他に、プロジェクターとのワイヤレスでの電源連動の目的で使用できます。この方法で制御する場合、リモコンにワイヤレス制御用 5-12V トリガケーブルを接続します。ラジオ周波の信号により、プロジェクターの電源操作に合わせてスクリーンを昇降させることができます。

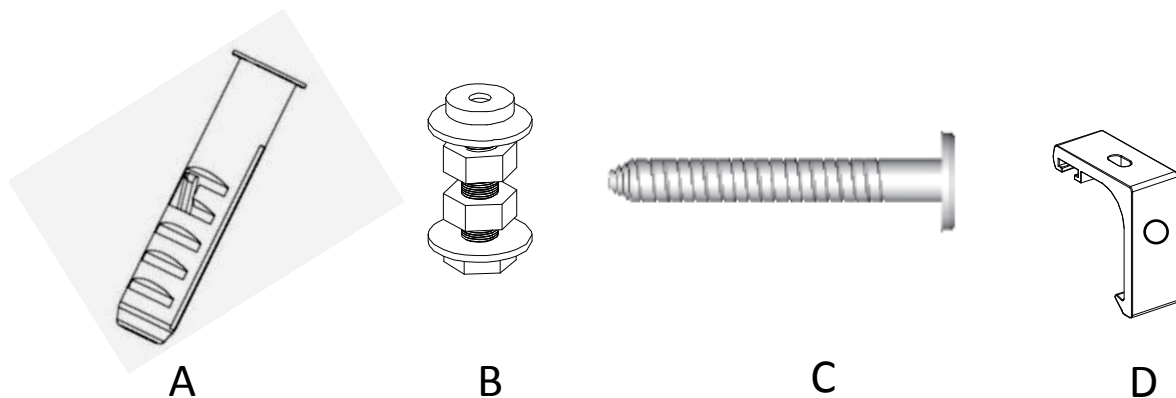
**ワイヤレス制御用 5-12V トリガケーブルを使用した連動方法**

- Step1: ラジオ周波リモコンにトリガケーブルを接続します(3.5mm プラグ側)
- Step 2: トリガケーブルのもう一方のプラグをプロジェクターの 5-12V トリガ出力端子に接続します
- Step 3: スクリーンの電源コードをコンセントから抜いておきます
- Step 4: ラジオ周波リモコンの UP ボタンを押します
- Step 5: UP ボタンを押したままの状態です電源コードをコンセントに差し込みます
- Step 6: 5 秒待つてから UP ボタンを離します
- Step 7: プロジェクターの電源を操作して、5-12V ワイヤレストリガ機能が有効になっていることを確認します  
うまく動作しない場合は上記の手順を再度試してください。  
プロジェクターの電源のオン・オフは、20~30 秒以上の間隔をあけて操作する必要があります。



## 取り付け用の部品(スクリーンに同梱)

スクリーンの設置を開始する前に、すべてのパーツが揃っていることをご確認ください。



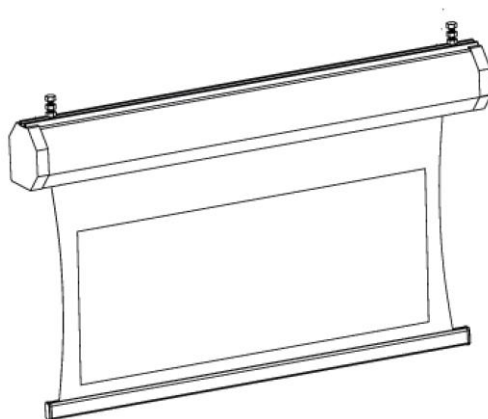
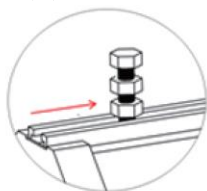
パーツ	個数
A. M12 アンカー	4 または 6
B. ボルト	2 または 3
C. ネジ	4 または 6
D. L字ブラケット	2 または 3

120 インチ以上の  
モデルでは 3 個

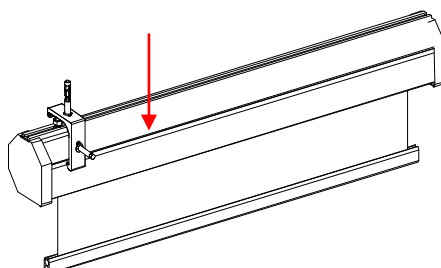
## 設置手順

スクリーンの設置については専門の業者に相談してください。誤った設置方法により生じた損害に対しエリートスクリーンは責任を負いかねます。

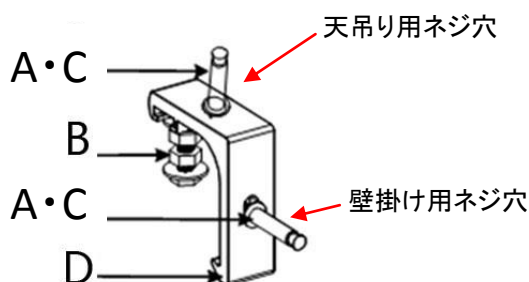
1. ボルト(B)をシネテンション 2 のケース上部にあるスライド用の溝へ差し込み、固定します。



2. L字ブラケットは壁または天井に取り付けたうえで、以下の図(背面から見た図)のようにボルトとケースの溝にはめ込みます。この段階では、L字ブラケットはまだ取り付けません。

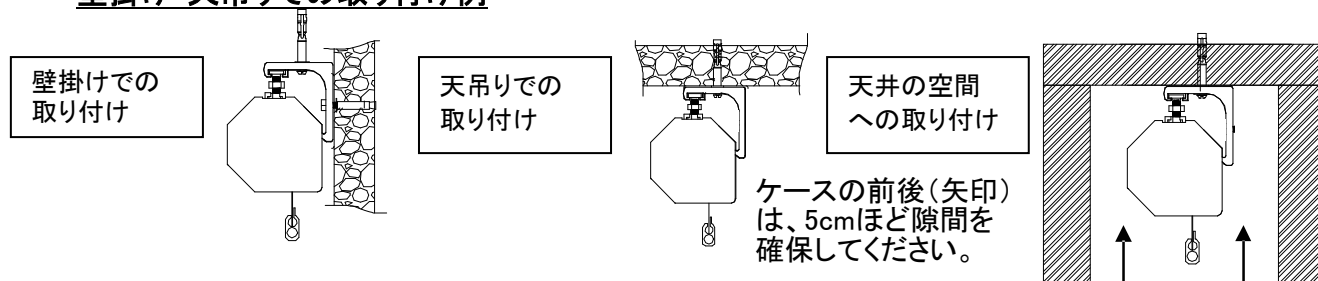


- 壁または天井のスクリーンを設置する場所に印を付け、ドリルで穴を開けます。付属のネジ、または取り付け場所に合った適切なネジを使用して、ドリル穴にL字ブラケットを固定してください。



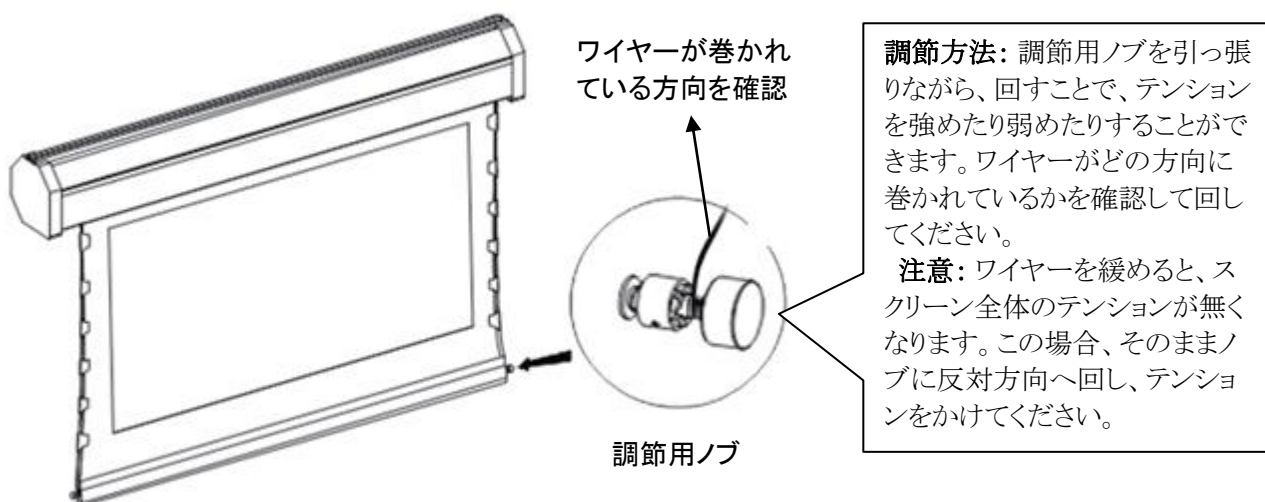
- ケースとボルトをL字ブラケットへ取り付けます。

### 壁掛け・天吊りでの取り付け例



### スクリーンのテンションの調整

ウェイトバーの両端にはテンション調整用のノブがあります。テンション用のワイヤーが緩んでしまった場合、このノブを使用して、テンションを調節することができます。スクリーンを平面にするため、スクリーン全体に均等にテンションをかける必要があります。



**注意:** この調整は必須ではありません。出荷時、スクリーンのテンションは最適な状態に調整されています。問題がある場合はエリートスクリーンジャパンまでお問い合わせください。